

自転車で公道を走る時は交通法規を守りましょう!



公益財団法人 日本自転車競技連盟広報誌



www.jcf.or.jp

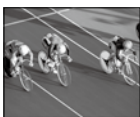
シクリスムエコー No.201
2013年6・7月号



全日本ロードで圧倒的な強さを見せた新城



第82回全日本自転車競技選手権大会ロードレース 2
各国際大会日本代表選手団 4
第16回ツアー・オブ・ジャパン 8



第60回全日本プロ選手権自転車競技大会トラック 12
2013年マウンテンバイク アジア選手権大会 13
2013J八幡浜インターナショナル XCO#2 (UCI-3) .. 14
今後の大会予定 14
各国際大会日本代表選手団 15
競技大会結果 16
加盟団体事務局変更のお知らせ/訃報/連盟の動き 19
ツアー・オブ・ジャパン photo 20



KEIRIN



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。  競輪の補助事業

RINGRING!
プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで
RINGRING!  検索



017 ROAD RACE

第 82 回全日本自転車競技選手権大会ロードレース



女子エリート先頭集団（左が優勝した與那嶺）



男子 U23、1 人逃げる吉田を追う 3 名（左が優勝した徳田）



男子ジュニアの先頭集団



男子 U17 の先頭集団



女子ジュニアの正式スタート

6月22日

＜女子ジュニア+ U17＞

今年の全日本選手権ロードのコースは、スタート地点から最初の10kmがテクニカルなコーナーを含む下り坂、そこからゴールまでの5kmは一ヶ所400mほどの下りはあるが、登りが続く厳しい1周15kmのコース設定になっている。ジュニア女子はU17の選手を含め、10名の選手がこのコースを3周する45kmのコースに臨んだ。地元大分出身の、前年の高校選抜女子チャンピオンの江藤里佳子（鹿屋体育大）はスタートしなかった。

約10kmのニュートラル区間が終わり登り坂から正式スタートと同時に、坂口聖香（パナソニック レディース）、谷伊央里（前橋育英高）がすぐに抜け出し、伊藤杏菜（Ready Go JAPAN）が続く。その後坂口が1人で抜け出し、2周目の下りでは谷、元砂七夕美（榛生昇陽高）らに40秒ほどの差をつける。2周目の登り口では坂口は谷、元砂、伊東（浜松学院高）の3名に30秒、その少し後ろを伊藤が続く。2周目の登り中腹で谷、伊藤が追撃を開始するが、3周目に入る段階で坂口はこの2名に50秒の差をつける。

3周目の下りを谷が攻めて伊藤を引き離し、登りの入り口では坂口に20秒ほどまでに迫る。伊藤は谷からここで20秒

遅れる。霧のかかったコースで、前に坂口を捉えた谷が、良いペースで差をジワジワ詰めていく。ラスト3kmあたりでは10秒ほどまで近づく。ここから2人での争いになるかと思われたが、追いつく直前で坂口が踏み直して一気に差をつけてここで勝負が決まる。坂口は谷に24秒差で逃げ切り優勝。3位は1分9秒差で伊藤が入った。

スタート後すぐに登りで坂口が1人で逃げ切る意思をみせ、得意な下りでは敢えてリスクを負わない走りに徹し、ラスト1周で谷の猛迫を許したものの最後は力をみせて、スタートからゴールまでほぼ1人で走りきった。



女子ジュニア、独走する坂口聖香

＜男子ジュニア＞

男子ジュニアは15kmのコースを6周回する90kmで争われた。



男子ジュニアの先頭集団

ニュートラル区間が終わり最初の登りで橋詰（昭和第一学園高）、岡（キャンノンデール・チャンピオンシステム）らが中心に登りでペースを上げる。2周目の下りで岡、河津賢人（九州学院高）、横山航太（篠ノ井高）が攻めると集団は中切れを起こし、狭い下り区間で落車が起こる。ここでの落車に優勝候補の1人、橋詰らも巻き込まれて遅れてしまう。そのあとの登りでもペースが上がり、集団はバラバラになり先頭グループの13名のみが唯一の集団となる。先頭の13名は岡、黒枝咲哉（日出暁谷高）、吉田優樹（日本大）、山本大喜（榛生昇陽高）、松本祐典（北桑田高校）、小山貴大（前橋育英高）、塩田航平（栄北高）、雨澤毅明（那須ブラーゼン）、野本空（松山工業高）、伊東泰輝（別府商業高）、中本優司（奈良北高）、斉藤瞭汰（前橋工業高）、成海大地（普天間高）。

3周目の狭い下りで黒枝がパンクするが、無事登り始めまでに集団復帰する。先頭グループでは下り坂は岡が、登り坂では雨澤が中心にペースを作っている。3周目の登りで中本、成海、斉藤が遅れる。4周目の登り始めから雨澤が中心にいままでの周よりペースを上げたため、松本、伊東、山本、塩田、野本が遅れ先頭集団は雨澤、岡、小山、吉田、黒枝の5名になる。小山も遅れかけたが登り中腹で復帰する。

5周目の下り始めで雨澤がパンクするが、ここでもニュートラルの素早い対応で無事復帰する。大きく遅れていた山本もこの下りで単独で先頭に戻



男子ジュニア、スプリントを制した黒枝

てきて6名の先頭集団になる。この周回の登りでは大きな動きはなく、ラスト周回の6周目に入る。下り始めで黒枝が前の選手とハスって落車するが、膝と肘から激しく出血しながらも無事復帰する。ラストの下りで山本が遅れ、先頭は5名になる。登りでは細かなアタックはかかるが、単独で抜け出すほどの大きな差にはならない。この登りで吉田が遅れる。

ラスト2kmでの岡のアタックで小山が遅れかけるが、前も牽制が入りラスト1kmでは岡、黒枝、雨澤、小山の4名での勝負となる。雨澤がラスト500mあたりでロングスパートをかけるが、黒枝、岡は即座に反応して逃さない。最後はラスト150mでスプリン

トに絶対の自信を持つ黒枝が、一気に仕掛けてゴールを制する。岡が2位、

雨澤が10秒遅れで3位、小山が4位。

ジュニア男子は94名がスタートして、完走したのはわずか8名という非常に厳しいレースとなった。スタート直後の登りから2周目の下り、登りでのペースアップにより決定的な先頭グループが出来た。登りを得意とまでは言えない黒枝が、厳しい地元大分のコースで登りでのペースアップにも対応し、パンク、落車のトラブルをも克服して、最後は自分の得意なスプリントに持ち込み優勝した。登りで力をみせた雨澤、岡も強さは見せたが、1人で先頭グループから抜け出すことは出来なかった。

4周目で争われた男子U-17では、レース前半から登りで積極的にペースアップを図り、最後は1人抜け出した石上優大(横浜高)が優勝した。

(柿木 孝之)



男子U17、単独で逃げた石上

2013トラックオーストラリア国際大会 日本代表選手団

大会名 2013トラックオーストラリア国際大会
開催場所 オーストラリア・アデレード
開催日程 2013年7月10日～14日
派遣日程 2013年7月8日～16日
代表選手団

監督 松本 整 (ナショナルチーム総監督)
コーチ 坂本 勉 (ナショナルコーチ)
飯島 誠 (選手強化コーチ)
スタッフ 沖 美穂 (選手強化アドバイザー)
メカニック 森 昭雄 (選手強化支援スタッフ)
通訳 増田恵美子 (選手強化支援スタッフ)
選手 菅田和宏 (JPCA・JPCU 宮城)・早坂秀悟 (JPCA・JPCU 宮城)
森山智徳 (JPCA・JPCU 熊本)・橋本英也 (岐阜・鹿屋体育大学)
加瀬加奈子 (JPCA・JPCU 新潟)・中川諒子 (JPCA・JPCU 新潟)
石井寛子 (JPCA・JPCU 東京)・前田佳代乃 (京都)
塚越さくら (鹿児島・鹿屋体育大学)

2013トラック中国国際大会日本代表選手団

大会名 2013トラック中国国際大会
開催場所 中国・北京
大会期間 2013年6月28日～30日
派遣期間 2013年6月26日～7月1日
代表選手団

監督 松本 整 (ナショナルチーム総監督)
コーチ 坂本 勉 (ナショナルコーチ)
飯島 誠 (選手強化コーチ)
スタッフ 村田 正洋 (アシスタントナショナルコーチ)
沖 美穂 (選手強化アドバイザー)
メカニック 森 昭雄 (選手強化支援スタッフ)
マッサージ 柳 浩史 (選手強化支援スタッフ)
ドクター 寺門 厚彦 (選手強化医科学部員)
随員 田畑 昭秀 (選手強化医科学部員)
選手 中川誠一郎 (JPCA・JPCU 熊本)・渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)
河端 朋之 (JPCA・JPCU 岡山)*・稲毛 健太 (JPCA・JPCU 和歌山)*
橋本 英也 (岐阜・鹿屋体育大学)・石井 寛子 (JPCA・JPCU 東京)
前田佳代乃 (京都)・塚越さくら (鹿児島・鹿屋体育大学)
*CCT

<男子アンダー23>

全日本選手権ロードレース男子U23は、1周15kmを9周する135kmで行われた。長い登りと細くて曲がりくねった下りのみで構成されたコースプロフィールから、大集団のメリットは少なく、サバイバルレースになることが予想された。その予想は1周目10km近くニュートラルが続き、正式スタートから5km程の登り1本で出走者112人のうち半数近くの51人がカットされ、優勝者の平均速度が30km/hにも届かないことで裏付けられた。もっとも全日本選手権であるにもかかわらず1周でDNFとなるような選手は、本来出場すべきでなかっただけかも知れない。



U23、アタックする吉田

イン集団から抜け出した住吉宏太、池部壮太、徳田鍛造が吉田を追う。6周目、池部、徳田やや遅れて吉田という構図から、7周目に池部と吉田が遅れて先頭は徳田単独になる。8周目、後続から石橋と山本のペースアップに西村大輝が反応し、2位になった西村が徳田との差を2分まで縮めて最終周回に入る。

しかし最終周、徳田がタイム差を意



U23、後続集団を引く西村

識してペースを上げると西村はそれ以上差を詰められず、徳田が逃げ切って優勝した。

徳田の平均速度 28.71 km/h は、エリートクラスで優勝した新城幸也の平均速度 28.6 km/h を上回った。距離が45km短く、さらに天候など気象条件も違うが、評価出来るレース内容だったと言えよう。(三宅 秀一郎)



U23、鹿屋が集団の前を固める

2周目、石橋学・山本元喜・黒枝士揮らの鹿屋体育大学勢がレースを引っ張るが、周回後半の登りで日本大学の吉田悠人が、集団から30秒程飛び出す。

3周目に入り、吉田と30名程度に減ってしまったメイン集団との差は55秒程に広がる。4周目で2分半、5周目で3分と差が広がって行く間に、メ



U23、逃げ切った徳田

Meitan SuperAthlete

株式会社梅丹本舗
大阪府摂津市学園町 1-1-26
072-637-5677 (代表)
<http://www.meitanhonpo.jp/>

アスリートのための糖質補給



効率のよい
エネルギー変換に



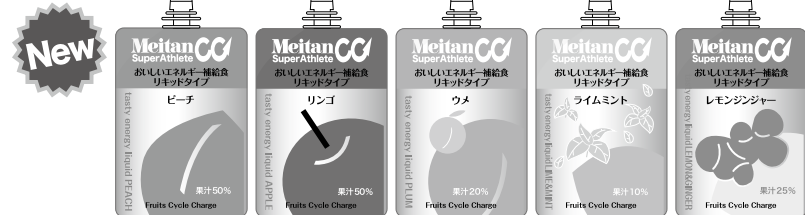
パワーダウンを防ぎ
本来の力を発揮



汗をかくすべての方に



おいしくエネルギー補給



梅丹本舗は日本自転車競技連盟のオフィシャルスポンサーです。自転車競技ナショナルチームを応援しています。

6月23日

<男子エリート> 15km×12周 =180km

朝から小雨の降る中、定刻通り8時レース開始(125名出走)、ニュートラル区間10km過ぎの上り坂に入り正式スタート。スタート直後からアタックが開始され、数名の選手が集団から抜け出す。2周目の上り坂に入った所で土井雪広(右京)、西谷泰治(愛三)、新城幸也(ヨーロツバカー)、内間康平(ニッポ)、中根英登(ニッポ)、中島康晴(愛三)、吉岡直哉(京産大)、窪木一茂(和歌山)8名の選手がメイン集団を引き離す。



男子エリート逃げる8名

3周目に入り、スタートゴールまで2kmの地点で、メイン集団とのタイム差2分10秒、逃げている選手の中に優勝候補の新城と土井が入っている事から、序盤の逃げとはいえこのまま逃げ切りも予想される。

メイン集団はプリヂストーンチームが集団をコントロールしてタイム差を詰めようとするが、逃げているトップ集団は新城がタイム差を見ながらコントロールして、集団とのタイム差を2分台にキープ。6周目の下り坂で中根が落車、代車に乗り換えて走るがトップ集団には復帰できず。

トップ集団7名となるがメイン集団とのタイム差は変わらず。スタートゴール



プリヂストーンが後続集団をコントロール

6



雨の中、単独で逃げる新城

ルまで3kmの地点でトップ集団から吉岡が遅れ、6名となった所でメイン集団とのタイム差1分10秒、メイン集団がタイム差を詰めて来た。

新城がトップ集団のペースを上げると、ラスト2km地点で窪木が遅れる。補給地点で新城がアタック、西谷が遅れゴール地点通過は4名、7周目に入る。下りでもペースアップを図る新城、追走集団とのタイム差が再び広がる。上りに入りなおもペースアップを図る新城、ラスト5km地点で内間、中島と続いて遅れ、トップの逃げは新城と土井の2名となった。

メイン集団は増田成幸(キャンソニール)、清水都貴(プリヂストーン)、伊丹健治(プリヂストーン)、初山翔(プリヂストーン)、中島康晴(愛三)、伊藤雅和(愛三)、狩野智也(右京)、内間康平(ニッポ)、福島晋一(ニッポ)、畑中勇介(シマノ)武井亨介(フォルツァ)の11名で追走するが、清水、伊丹、増田が抜け出しメイン集団もバラバラとなり集団が無くなる。

10周目ゴール地点を通過した所で40秒差、土井のペースに合わせていた新城も後続とのタイム差を見てサポート、一気にペースを上げ再び後続選手とのタイム差を広げる。

ラスト3周回を独走し2位以下に6

分以上の大差を付け新城が優勝。

今回のコースは平坦が無く下りのコースも狭くチームプレーの出来ない、個人の力が明確に出たレースであった。2周目から逃げ切った新城の圧倒的な強さは、世界で戦う選手の力強い走りであった。そして今年は日本チャンピオンとしてツールドフランスに参戦する事が決まった。

<女子エリート> 15km×6周 =90km

女子レースは男子エリートスタート後8時5分にニュートラルスタート。小雨の降る中30名の選手が、下りの10km区間をニュートラル走行後、登り坂に入った所で正式スタート。

萩原、金子、與那嶺により集団がコントロールされる中、スタートして直ぐに集団から遅れる選手が出始め、1周終了時点でトップ集団6名、與那嶺恵理、萩原麻由子、金子広美、上野みなみ、崎本智子、福本千佳が通過。

第2グループは1分20秒遅れで、西加南子、森本朱美、下澤千亜紀が通過。下り切った2周目のラスト5km地点で追い付き、9名のトップ集団となるが、上り始めると再び森本、下澤、西、福本、上野、萩原と続いて遅れる。

トップ集団は與那嶺、金子、崎本となるが、頂上ゴール地点まで2km地

女子エリートの正式スタート



点で崎本が遅れ、続いて金子選手も遅れ、2周目ラスト1km地点で與那嶺が独走となり、そのまま後続選手を引き離し2位以下に4分30秒以上の大差を付け全日本選手権初優勝。

圧倒的な強さを見せつけた與那嶺恵理の、今後の活躍に期待したい。

(高橋 松吉)

【競技結果】

男子U23 (180.0 km)

- 1 新城 幸也 JPCA Europcar 6:17:31
- 2 清水 都貴 JPCA BS アンカー 6:23:46
- 3 増田 成幸 栃木 キャノンツール 6:26:45



- 4 伊藤 雅和 愛知 愛三工業 6:27:25
- 5 福島 晋一 JPCA NIPPO 6:28:19
- 6 初山 翔 神奈川 BS アンカー 6:29:29

女子U23 (90.0 km)

- 1 與那嶺恵理 茨城 フォルツァ! 3:27:29
- 2 金子 広美 三重 イー・メ信濃 3:32:02
- 3 萩原麻由子 群馬 Wiggle 3:34:37



- 4 崎本 智子 愛媛 カカワAS 3:40:36
- 5 西 加南子 千葉 LUMINARIA 3:45:48
- 6 上野みなみ 青森 鹿屋体育大 3:47:50

男子U23 (135.0 km)

- 1 徳田 鍛造 鹿児島 鹿屋体育大 4:42:07
- 2 西村 大輝 東京 シムレーシング 4:44:02
- 3 山本 元喜 奈良 鹿屋体育大 4:45:04



- 4 広瀬 樹 神奈川 中央大 4:45:13
- 5 石橋 学 青森 鹿屋体育大 4:46:00
- 6 内野 直也 埼玉 EQA U23 4:46:06

男子ジュニア (90.0 km)

- 1 黒枝 咲哉 大分 日出暘谷高 3:13:09
- 2 岡 篤志 茨城 C Project 3:13:11
- 3 雨澤 毅明 栃木 那須ブラーゼン3:13:19



- 4 小山 貴大 群馬 前橋育英高 3:13:21
- 5 山本 大喜 奈良 榛生昇陽高 3:14:21
- 6 吉田 優樹 福島 日本大 3:14:41

男子U17 + U15 (60.0 km)

- 1 石上 優大 神奈川 横浜高 2:12:42
- 2 中村 圭佑 東京 昭和第一学 2:12:54
- 3 水谷 翔 鹿児島 南大隅高 2:13:12



- 4 日野 竜嘉 愛媛 松山聖陵高 2:14:19
- 5 富尾 大地 鹿児島 南大隅高 2:16:28
- 6 小野康太郎 東京 パールズミ 2:17:56

女子ジュニア+ U17 (45.0 km)

- 1 坂口 聖香 兵庫 パナソニックL. 1:55:24
- 2 谷 伊央里 群馬 前橋育英高 1:55:48
- 3 伊藤 杏菜 愛知 Ready Go J.1:56:33



女子U17 (45.0 km)

- 1 坂口 楓華 兵庫 パナソニックL. 2:04:46



新しい翼で、世界の空へ。

JAPAN AIRLINES

JAL

member of oneworld

16th TOUR OF JAPAN

KEIRIN 00
この大会は競輪の補助金
を受けて実施されました



体調不良の中、東京ステージで優勝した西谷

<第1ステージ>堺

5月19日11時15分、ツアー・オブ・ジャパンの参加選手による「堺国際クリテリウム」がスタート。5周目、エリア・ファビッリ、クリスティアーノ・モンゲツジ、ダレン・ラフォーン、山下貴宏、畑中勇介らが集団から飛び出す。結果的にはランプレ・メリダのマキシミアノ・リケーゼが見事ゴールスプリントを制した。

その後12時05分よりJBCF堺クリテリウムが開催された後、いよいよ13時40分、ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ(個人タイムトライアル)が悪天候の中開始された。

序盤9番スタートの盛一大(AIS)が3分31秒02で暫定1位となり、それを同チームの西谷泰治が4秒以上上回る。後半スタートのソ・ジョン

ヤン(KSP)は1位には届かなかったが3分30秒45で、今大会初のホワイトジャージを受けた。その結果、西谷は昨年大会最終ステージに続いての区間優勝となった。

<第2ステージ>美濃

9時15分、旧今井家住宅前をスタート、約4kmのパレード走行した後、正式スタート。正式スタート直後、安井雅彦(SMN)と阿部高之(UKO)が集団から飛び出すも、すぐ集団に吸収される。

山岳ポイントを通過したあたりで、チャン・ジェ・ジャン(CSS)とのジャン・ジミン(KSP)が集団から飛び出す。

最初のフィニッシュ地点を通過した時点で、先頭2名と集団とのタイム差は1分30秒。その後タイム差が広がり、1周終了時点で7分50秒、2周

終了時点では9分8秒となった。

その後も先頭2名が集団を大きく離れた展開が続くが、徐々に差が少し縮まり、3周終了時点で8分29秒、4周終了時点で5分51秒、5周終了時点で3分34秒に縮まる。

6周目途中でジャン・ジミンが集団に吸収され、チャン・ジェ・ジャンも6周終了時点で集団に吸収され大きな集団のまま最終ラップへ突入。

山岳ポイント通過時点でウィーニファンティーニとランプレの2選手が少し飛び出す。残り1kmを切ったところで、パク・ソンピャク(KSP)、ミケーレ・メルロー(VIN)、マキシミアノ・リケーゼ(LAM)、ウィリアム・ウォーカー(DPC)らがスパート。デッドヒートの末、パク・ソンピャクがレースを制した。



堺ステージ優勝の西谷



美濃ステージで逃げるチャンとジャン



美濃ステージ優勝のパク



美濃ステージのメイン集団

<第3ステージ>南信州

8時45分にJR飯田駅前をスタート、飯田市内をパレード走行した後正式スタート。

周回コース2周目でダビデ・ヴィガノ(LAM)、マリウス・ヴィズィアック(MTR)、ロビー・ハッカー(DPC)、吉田隼人(SMN)、福島晋一(PPO)、阿部嵩之(UKO)の6選手が後続に20秒程度差をつける展開に。



南信州ステージ、逃げる6名

3・4周目までは先頭6名を後続集団が追う展開が続くが、5周目途中で集団からステファノ・ボルチ(VIN)が飛び出す。5周終了時点で先頭6名とステファノ・ボルチとのタイム差は1分39秒、後続集団と先頭とのタイム差は3分20秒。

6周目にステファノ・ボルチが集団に吸収され再び先頭6名を後続30名が追う展開になるが、その後、集団からエリア・ファビッリ(LAM)、ネイサン・アール(HGP)、シモーネ・カンパニャーロ(PPO)、ベルナルド・サルツパージャー(DPC)が飛び出す。

7周終了時点で先頭6名と後続4名のタイム差1分9秒まで広がるが、8周目にその2つの集団が一緒にな

り、そこにクリスティアーノ・モングッジ(VIN)が加わり11名の集団になる。8周終了時点では先頭11名を1分20秒差で20名程度の集団が追いかける展開。9周終了時点では後続が16名になり、タイム差は約30秒。

その後クリスティアーノ・モングッジ(VIN)、シモーネ・カンパニャーロ(PPO)、福島晋一(PPO)が先頭グループから抜けだし、その先頭3名を20名の集団が追う展開になる。

11周目、先頭3名からクリスティアーノ・モングッジがアタックをかけ単独先行、シモーネ・カンパニャーロと福島は後続集団に吸収されタイム差は25秒となる。

最終ラップ、後続集団からピエールパオロ・デネグリ(VIN)、ジュリアン・デービット・アレドンド(PPO)、フォルツナー・バリアーニ(PPO)の3名が飛び出しトップを追い抜き、その後をクリスティアーノ・モングッジ(VIN)、西園良太(CSS)、ダレン・ラフォーン(DPC)、トマ・ルバ(BGT)が追いかける展開になる。

周回コースを完了し、先頭3名で残り1kmを通過後、ピエールパオロ・デネグリがゴールスプリントを制し優勝した。



南信州ステージ、山岳ポイントを行く集団



南信州ステージ優勝のデネグリ

<第4ステージ>富士山

浅間神社前を10時にパレードスタート、ふじあざみライン入口に一時停止し、その後正式スタート。

序盤はヴィーニファンティーニとチームNIPPOの選手が集団をリード。



富士山ステージの先頭集団。前列左が優勝のディボール

その後ネイサン・アール(HGP)、ベンジャミン・ディボール(HGP)、ダレン・ラフォーン(DPC)、ジュリアン・デービット・アレドンド(PPO)、フォルツナー・バリアーニ(PPO)、シモーネ・カンパニャーロ(PPO)、トマ・ルバ(BGT)、ダミアン・モニエ(BGT)の8名が先頭集団を形成するも、残り5kmでベンジャミン・ディボール、ジュリアン・デービット・アレドンド、フォルツナー・バリアーニの3名がアタックをし



富士山ステージ優勝のディボール

かけ、バリアーニ、ディボール、アレドンドの順になる。

残り4km地点で、1位バリアーニと2位ディボールの差は15秒差、3位はダミアン・モニエでトップと30秒差。残り1kmを切ったところで、バリアーニとディボールの差が3秒に縮まり、残り500m付近でディボールがトップに躍り出る。

残り200m付近でディボールがバリアーニに5秒差をつけ、そのまま追いつかれる事なく最終的には4秒差でフィニッシュした。



富士山ステージフィニッシュ直後のNIPPO

<第5ステージ>伊豆

9時30分スタート、1周目から井上和郎(BGT)、山下貴宏(UKO)、寺崎武郎(JPN)がアタックをしかける、その後ウィリアム・ウォーカー(DPC)、トマス・ラボウ(TSI)、清水都貴(BGT)の3名が先頭3名に加わり、6名で先頭集団を形成し、レースをリード。

先頭6名を後続集団が追うという形で、7周を終えたところで集団がペースアップを図り、先頭との差が徐々に縮まっていく。8周目に先頭6名から清水、トマス・ラボウ、寺崎がペースアップを図り3名となり、それをウィリアム・ウォーカーと井上が8秒差、山下が先



伊豆ステージのスタート前



伊豆ステージ山岳ポイントへ向う集団

頭から35秒差で追う。

9周目途中で、先頭3名から清水がペースアップを図り、それをトマス・ラボウがついていき先頭は2名。それをウィリアム・ウォーカー、寺崎が15秒差で追う。山下、井上の2名は後続集団に吸収される。

10周目で寺崎、ウィリアム・ウォーカーも後続集団に吸収される。後続集団はそのままペースを上げ、10周終了時点で、先頭2名とのタイム差は35秒。11周目で先頭の2名を吸収し30名ほどの集団になる。11周目途中、平塚吉光(AIS)がアタックをかけるも、最終周で集団に吸収される。

その後集団からダレン・ラフォン(DPC)がアタックをしかけるが、集団に吸収され集団のままゴールスプリントへ。結局ネイサン・アール(HGP)がゴールスプリントを制し、区間賞を獲得した。

伊豆ステージ優勝のネイサン・アール



<第6ステージ>東京

11時スタート、芝公園付近までの1.2kmをパレード走行した後に正式スタート。何名かの選手がアタックするが、その都度集団に吸収される。

大井埠頭の周回コースに入り中村誠(BLZ)がアタックをしかけ、逃げの体制をつくりレースを進める。中村は集団との差を最大1分30秒程まで広

東京ステージで1人逃げる中村



げるが、残り2周になったところで集団に吸収される。

その後、集団から堀孝明 (BLZ) がアタックをするがまもなく吸収され、新たにクレイグ・ルイス (CSS)、フロリス・ゴジネン (DPC)、エリック・シェパード (TSI) の3名がアタックし先行する。

最終ラップ、先頭3名と集団の差は25秒まで広がったが、残り1km付近で集団に吸収され大集団のままゴールスプリントへ。そして西谷泰治 (AIS) がスプリントを制し、昨年に続き東京ステージ2連覇を果たした。

【競技結果】

第16回ツアー・オブ・ジャパン (2013/5/19-26 堺・美濃・南信州・富士山・伊豆・東京)

個人総合時間賞

1	BALIANI Fortunato	ITA	15:39.44
2	ARREDONDO Julian David	COL	15:40.55
3	MONIER Damien	FRA	15:41.20

4	LEBAS Thomas	FRA	15:42.23
5	DYBALL Benjamin	AUS	15:43.10
6	西菌 良太	チャンピオンシステム	15:43.30

新人賞

1	ARREDONDO Julian David	COL	15:40:55
2	DYBALL Benjamin	AUS	15:43:10
3	EARLE Nathan	AUS	15:44:54

ポイント賞

1	DE NEGRI Pierpaolo	ITA	56p
2	西谷 泰治	愛三工業レーシングチーム	41p
3	RICHEZE Maximiliano	ARG	38p

山岳賞

1	VIGANÒ Davide	ITA	22p
2	HUCKER Robbie	愛三工業レーシング	20p
3	DYBALL Benjamin	AUS	15p



団体総合時間賞

1	TEAM NIPPO-DE ROSA	47:10:24
---	--------------------	----------



2	HUON SALMON-GENESYS	47:14:53
3	BRIDGESTONE ANCHOR	47:16:10

第1ステージ堺

1	西谷 泰治	愛三工業レーシング	3:26.75
2	SEO Joon yong	KOR	3:30.45
3	盛 一大	愛三工業レーシング	3:31.02
4	野中 竜馬	シムレーシングチーム	3:31.76
5	内間 康平	NIPPO・チャンピオンシステム	3:32.21
6	WIESIAK Mariusz	POL	3:32.88

第2ステージ美濃

1	PARK Sung baek	KOR	3:59.23
2	MERLO Michele	ITA	3:59.23
3	RICHEZE Maximiliano	ARG	3:59.23
4	WALKER William	AUS	3:59.23
5	PALINI Andrea Francesco	ITA	3:59.23
6	COMPAGNARO Simone	ITA	3:59.27

第3ステージ南信州

1	DE NEGRI Pierpaolo	ITA	3:52.40
2	BALIANI Fortunato	ITA	3:52.40
3	ARREDONDO Julian David	COL	3:52.40
4	MONGUZZI Cristiano	ITA	3:53.00
5	LAPTHORNE Darren	AUS	3:53.00
6	LEBAS Thomas	FRA	3:53.00

第4ステージ富士山

1	DYBALL Benjamin	AUS	39.47
2	BALIANI Fortunato	ITA	39.51
3	MONIER Damien	FRA	40.33
4	ARREDONDO Julian David	COL	41.01
5	EARLE Nathan	AUS	41.55
6	COMPAGNARO Simone	ITA	41.58

第5ステージ伊豆

1	EARLE Nathan	AUS	4:29.38
2	FAVILLI Elia	ITA	4:29.38
3	DE NEGRI Pierpaolo	ITA	4:29.38
4	HUCKER Robbie	AUS	4:29.38
5	西菌 良太	チャンピオンシステム	4:29.38
6	土井 雪広	チーム UKYO	4:29.40

第6ステージ東京

1	西谷 泰治	愛三工業レーシング	2:34.31
2	RICHEZE Maximiliano	ARG	2:34.31
3	吉田 隼人	シムレーシングチーム	2:34.31
4	OTHMAN Adiq	MAS	2:34.31
5	土井 雪広	チーム UKYO	2:34.31
6	COMPAGNARO Simone	ITA	2:34.31

Official Sponsor of
World Tour cycling team
LAMPRE-MERIDA



第60回全日本プロ選手権自転車競技大会トラック



団体種目は中部が独占!



ケイリン決勝、右端が優勝の園田

【競技結果】

第60回全日本プロ選手権自転車競技大会
(2013/5/20 大阪・岸和田競輪場)

男子スプリント

- 1 中川誠一郎 熊本
- 2 河端 朋之 岡山
- 3 雨谷 一樹 栃木

男子1kmタイムトライアル

- 1 新田 祐大 福島 1:03.885
- 2 坂本 貴史 青森 1:04.680
- 3 稲毛 健太 和歌山 1:05.359

男子ケイリン

- 1 園田 匠 福岡
- 2 浅井 康太 三重
- 3 藤木 裕 京都

男子4km個人パシュート

- 1 岡嶋 登 大阪 4:43.641
- 2 網谷 竜次 香川 4:51.746
- 3 大屋 健司 広島 4:54.637

男子エリミネーション

- 1 舩井 幹雄 三重
- 2 椎木尾拓哉 和歌山
- 3 三谷 将太 奈良

男子チームスプリント

- 1 中部 松岡・竹内・森川 1:14.329
- 2 北日本 伏見・佐藤・渡邊 1:14.479
- 3 南関東 郡司・和田・巴 1:15.304

男子チームパシュート

- 1 中部 山口・児玉・吉田・川西 4:26:149
- 2 近畿 村田・角・井上・渡辺 4:31:316
- 3 関東 田村・手島志・手島達・石川 4:31:876

女子カーネーションカップ

- 1 門脇真由美 大阪
- 2 梶田 舞 栃木
- 3 奈良岡彩子 青森



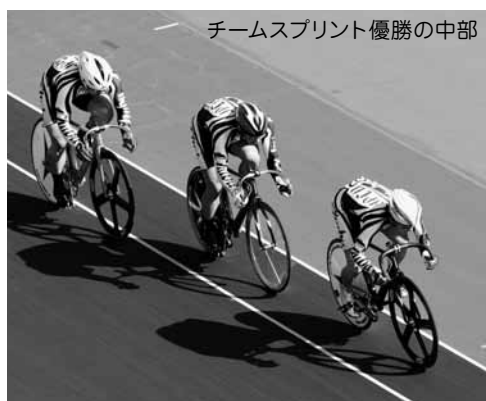
スプリント決勝、右が優勝の中川



エリミネーション決勝



1kmTT 優勝の新田



チームスプリント優勝の中部



日本競輪選手会表彰



カーネーションカップ決勝、③が優勝の門脇



チームパシュート優勝の中部

2013年マウンテンバイク アジア選手権大会

末政、山本幸平が金メダル!



女子ダウンヒル優勝の末政

【ダウンヒル】

5月11日(土) アジア MTB 選手権ダウンヒルの決勝が中国成都にて行われ、女子は末政実緒が11回目のアジアチャンピオンに、男子は清水一輝が銀メダルを獲得した。

コースは高低差が少ないためペダリングセクションが多く、持久力が必要とされるものだった。テクニックを要求するシングルトラックはなかったが、週の前半の雨でこねられた路面がレース前日からの晴天で硬く締まり、走行ラインを間違えると轍にタイヤをとられるといった点では繊細さを要求されるものでもあった。

日本からは女子は末政、男子は清水、青木、井手川の3選手がエントリーした。互いに最速走行ラインなどの情報を共有し、チームで金メダルを獲りにいった。

前日のタイム計測では女子は1位、男子は4位、5位、7位のポジション。男子のライバルはインドネシアと台湾が予想されたが、日本チームは比較的体力を温存しながら様子見のタイムだったので、どの選手も十分狙えると確信して決勝を迎えた。

女子の決勝は、年々タイムを縮め成長してくるライバルや連覇の重圧をはねのけ、末政が見事優勝。男子は狙いどおりタイムを縮めた清水が、惜しくもコンマ8秒差の2位。井手川もミスなくベストを尽くし5位となった。

【クロスカントリー】

5月12日(日) アジア MTB 選手権クロスカントリーが中国成都にて行われ、男子エリートに出場した日本チームは、山本幸平が5連覇の金メダルを獲得した。

レースはスタートループ1.7kmと6.5kmのフルコースを4周で行われた。当日は強い日差しと30度近くまで上昇した気温のため、スタートを待つだけでも体力を消耗するような厳しいコンディションであった。

スタートから約1km地点に最初に現れたのは、中国と山本の2人パック。そのすぐ後に日本の他3選手が続い

てレースを展開してほしかったが、イランや韓国など数か国が間に入ってしまい、先頭とのタイム差が開く厳しいスタートとなった。ほどなく先頭の中国選手が下りで転倒しリタイヤ。その後は山本が「今日は勝つための走り」という安定した走りで独走を続け、賞録の優勝を決めた。後続は1周目終了時点では沢田時と斉藤亮が3位バック、前田公平もさほど遅れずトップ10の位置で走行し後半の伸びを期待したが、沢田は結果7位、前田は14位。斉藤は熱中症のため嘔吐を繰り返してリタイヤ、メダルには届かなかった。

(小田島 梨絵)

【競技結果】

2013年マウンテンバイク アジア選手権大会 (2013/5/11-12 中国・成都)

男子エリートダウンヒル

1	Popo ARIYO SEJATI INA	2:40.001
2	清水 一輝 愛知 AKI Fact.	2:40.873
3	Pomomo PORNOMO INA	2:42.492
5	井手川直樹 広島 Devinci	2:44.242
	青木 卓也 東京 ジャイアント	DNS

女子エリートダウンヒル

1	末政 実緒 兵庫 Dirtfreak	3:00.959
2	Vipavee DEEKABALLES THA	3:05.550
3	Sattayanun ABDULKAREE THA	3:09.254

男子エリートクロスカントリー

1	山本 幸平 北海道 Specialized	1:27:46.374
2	KAZANTSEV, Kirill KAZ	1:29:47.424
3	DUAN, Zhiqiang CHN	1:30:31.285
7	沢田 時 滋賀 BSアーカー	1:34:42.332
14	前田 公平 東京 SCOTT	1:39:51.585
	斉藤 亮 長野 MIYATA	DNF



男子クロスカントリー優勝の山本

2013J 八幡浜インターナショナル XCO#2

悪天候の中、開催。斉藤、末政が勝利!

今回で12回目を教えるマウンテンバイクカーニバルでGO! 2013八幡浜インターナショナルクロスカントリー大会が、5月18日・19日の両日で行われた。18日はなんとか天候の方も良かったが、男子エリート女子エリートが行われた19日は、風雨の強い最悪のコンディションの中で開催された。

18日は3時間エンデューロ(時間内に何周走るか)、キッズジュニアマウンテンバイクチャレンジ(中学生男子、小学生高学年、小学校低学年の4つのクラス分けて年齢と力量の応じたコースを走る)が行われた。中学生男子クラスは大人顔負けのスピード感で、将来の有望選手誕生を予感させた。小学生のクラスでも、一生懸命ペダルをこぎ白熱したレースを繰り広げ、自転車競技の底辺拡大に継がる事を確信した。

翌日19日は、駐車場を利用したイベント広場に「グルメ横丁」、「ユニーク自転車ひろば」、「ボイスカウトの杜」、「ゲームひろば」、「リサイクル横丁」な

ど多くのブースが軒を連ね、あいにくの悪天候であったが多くの市民や親子連れが来場して、レースとは別に大変な盛り上がりを見せていた。

レースは男女ピギナー、男女スポーツ、男子エキスパート、男女ジュニア、そして国際レースにも位置づけられている女子エリート、男子エリートの順で行われた。女子エリートクラスにおいては兵庫の末政実緒(DIRTFREAK)が、2位の長野の相野田静香(GROE DREFREK LITEC)に4分58秒79差をつける1時間43分59秒15で優勝、表彰台の頂点に立った。

男子エリートは長野の斉藤亮(MIYATA-MERIDA)が、2位の小野寺健(specialized)に1分32秒95差をつける1時間57秒42秒10で優勝した。男女エリートのレースは風雨が強く走路も最悪の中、各選手はドロみれになり最後までゴールを目指す姿に、多くのギャラリーは最大の声援を送っていた。

大会を振り返ると、この八幡浜のコー

スは地元の愛好者がスコップと鍬を手に、3年もの歳月を費やし手作りで整備完成させた様に、非常に地元との密着感と大会に対しての愛着熱意を感じた。これからも八幡浜の大会が、国内屈指の名物大会となる様に盛り上げて行ってもらいたいと同時に、最大の協力体制も惜しんではならないと思う。

最後に悪天候だったにもかかわらず大会を盛り上げて頂いた選手、スポンサー、ギャラリー、ボランティア、地元の連盟の方々、ご苦労様でした!

(強化副委員長・広報委員長 塚本芳大)

【競技結果】

2013J 八幡浜インターナショナル XCO#2
(2013/5/18-19 愛媛・八幡浜 UCI-3)

男子エリート クロスカントリー

- 1 斉藤 亮 長野 MIYATA 1:57:42.10
- 2 小野寺 健 北海道 specialized 1:59:15.05
- 3 門田 基志 愛媛 GIANT 2:00:50.33

女子エリート クロスカントリー

- 1 末政 実緒 兵庫 Dirtfreak 1:43:59.15
- 2 相野田静香 長野 GROE 1:48:57.94
- 3 広瀬 由紀 神奈川 ckirin 1:52:13.01

今後の大会予定

期 日	大 会 名	種 目	場 所
7月6日 ~ 7日	第30回全日本BMX選手権大会	BMX	静岡/伊豆市・日本CSC
14日	第12回JBCF石川サイクルロードレース	RR	福島/石川町
19日 ~ 21日	第26回全日本マウンテンバイク選手権大会(XCO, DHI)	MTB	静岡/伊豆市・日本CSC
21日	第47回JBCF 西日本トラック	TR	大阪/河内長野市・関西CSC
24日 ~ 28日	2013年UCI BMX世界選手権大会	BMX	ニュージーランド/オークランド
27日 ~ 28日	第82回全日本自転車競技選手権大会トラックレース	TR	静岡/伊豆市・伊豆ベロドローム
27日 ~ 28日	2013日本パラサイクリング選手権・トラック大会	PC	静岡/伊豆市・伊豆ベロドローム
31日 ~ 3日	平成25年度全国高等学校総合体育大会自転車競技会	RR/TR	大分/日田市、別府市
8月3日 ~ 4日	お台場サイクルフェスティバル湾岸クリテリウム	RR	東京/お台場
4日	第44回JBCF東日本トラック	TR	静岡/伊豆市・伊豆ベロドローム
7日 ~ 11日	UCIジュニアトラック世界選手権大会	TR	イギリス/グラスゴー
17日	2013年UCIサイクルサッカー ワールドカップ アジアラウンド	ID	ホンコン/チャイナ
17日 ~ 18日	2013年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会	TR	静岡/伊豆市・伊豆ベロドローム
17日 ~ 18日	2013全日本オムニアム選手権大会	TR	静岡/伊豆市・伊豆ベロドローム
24日 ~ 25日	2013JBMXF ジャパンシリーズ第4戦	BMX	埼玉/秩父市・秩父滝沢サイクルパーク
24日 ~ 25日	2013MTB チャレンジダウンヒル in 野沢温泉 DHI # 3 (J1)	MTB	長野/野沢温泉スキー場
25日 ~ 27日	第48回全国都道府県対抗自転車競技大会	RR/TR	長崎/壱岐市、佐世保市
25日	第30回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会	RR	三重/鈴鹿市
26日 ~ 1日	2013年UCIマウンテンバイク&トライアル世界選手権大会	MTB/TL	南アフリカ/ピーターマリッツブルク
29日 ~ 1日	UCIパラサイクリング・ロード世界選手権大会	PC	カナダ/ベイクモーン
29日 ~ 1日	文部科学大臣杯 第69回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	TR/RR	青森/八戸市、階上町
31日 ~ 1日	MTBJ2 XCO/DHI 雫石STAGE	MTB	岩手/雫石町・雫石スキー場

2013年MTBアジア選手権大会日本代表選手団

大会名 第19回MTBアジア選手権大会
第5回ジュニアMTBアジア選手権大会

開催場所 中華人民共和国・成都

大会期間 2013年5月11日～12日

派遣期間 2013年5月6日～13日

代表選手団

強化スタッフ 小田島梨絵 (強化支援スタッフ)

メカニック 藤田 知高 (強化支援スタッフ)

マッサー 渡辺 城作 (強化支援スタッフ)

選手 クロスカンントリー

男子エリート 山本 幸平 (北海道・Specialized Racing Team)

斉藤 亮 (長野・MIYATA-MERIDA BIKING TEAM)

沢田 時 (滋賀・ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)

前田 公平 (東京・TEAM SCOTT)

ダウンヒル

女子エリート 清水 一輝 (愛知・AKI FACTORY TEAM)

青木 卓也 (東京・ジャイアント)

井手川直樹 (広島・Devinci/SUNSP.com)

女子エリート 末政 実緒 (兵庫・DIRTFREAK/SARACEN)

2013年BMXアジア選手権大会日本代表選手団

大会名 第8回BMXアジア選手権大会

開催場所 シンガポール

大会期間 2013年5月18日～19日

派遣期間 2013年5月17日～20日

代表選手団

役員 戸川 祐一 (チームマネージャー)

メカニック 光武 正勝

選手

エリート 松下 翼 (神奈川・法政大学)

三瓶 将廣 (神奈川・SYSTEMATIC BMX)

吉村樹希敢 (大阪・TOYO CREDITracing・SHOEI・OAKLEY)

三輪 郁佳 (福岡)

飯端 美樹 (大阪)

ジュニア 吉井 康平 (東京・Bring Up Power Team)

池上 悠斗 (大阪・リンゴロード)

佐伯 辰哉 (広島・VENDETTA RACING JAPAN)

山野本悠里 (広島)

朝比奈綾香 (大阪)

瀬古 遥加 (三重・Groovy Factory Team)

2013年ツアー・オブ・ジャパン日本代表選手団

大会名 第16回ツアー・オブ・ジャパン (UCI 2-1)

開催場所 堺、美濃、南信州、富士山、伊豆、東京

大会期間 2013年5月18日～27日

派遣期間 2013年5月19日～26日

代表選手団

監督 浅田 颯 (強化コーチ)

マッサー 井上 良輝 (強化支援スタッフ)

メカニック 高橋 優平 (強化支援スタッフ)

選手 寺崎 武郎 (福井・EQA U23)

秋丸 湧哉 (大阪・EQA U23)

黒枝 士揮 (大分・鹿屋体育大学)

木村 圭佑 (滋賀・京都産業大学)

山本 隼 (山梨・中央大学)

和田 力 (和歌山・日本大学)

ツール・ド・シンカラ日本代表選手団

大会名 ツール・ド・シンカラ

開催場所 インドネシア・パダン周辺

大会期間 2013年6月2日～9日

派遣期間 2013年5月31日～6月11日

代表選手団

監督 高橋 松吉 (JCF強化コーチ)

メカニック 鬼原 積 (JCF選手強化支援スタッフ)

マッサー 石田 宗男 (JCF選手強化支援スタッフ)

選手 六峰 巨 (大分・ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)

秋丸 湧哉 (大阪・EQA U23)

木村 圭佑 (滋賀・京都産業大学)

山本 隼 (山梨・中央大学)

和田 力 (和歌山・日本大学)

板橋 義浩 (青森・日本大学)

大田口 凌 (宮城・東北学院大学)

トロフェオ・カールスベルク日本代表選手団

大会名 2013トロフェオ・カールスベルク
(UCIジュニアネイションズカップ)

開催場所 ドイツ

大会期間 2013年5月30日～6月2日

派遣期間 2013年5月28日～6月3日

代表選手団

監督 柿木 孝之 (JCFジュニア強化育成部会員)

メカニック 山脇 靖宏 (JCF選手強化支援スタッフ)

現地スタッフ オラフ・ジョンソン

選手 岡 篤志 (茨城・キャノンデール・チャンピオンシステム)

横山 航太 (長野・篠ノ井高校)

黒枝 咲哉 (大分・日出暁谷高校)

橋詰 丈 (東京・昭和第一学園高校)

山本 大喜 (奈良・榛生昇陽高校)

松本 祐典 (京都・北桑田高校)

補欠 河津 賢人 (熊本・九州学院高校)

小山 貴大 (群馬・前橋育英高校)

安田 京介 (京都・北桑田高校)

Giang Television Women Cycling Cup
日本代表選手団

大会名 Giang Television Women Cycling Cup

開催場所 ベトナム・ホーチミン周辺

派遣期間 2013年7月6日～14日

大会期間 2013年7月8日～13日

代表選手団

監督 高橋 松吉 (JCF強化コーチ)

メカニック 未定

マッサー 石田 宗男 (JCF強化支援スタッフ)

選手 豊岡 英子 (大阪・パナソニックレディーズ)

金子 広美 (三重・イナメ・アイランド信濃山形)

針谷千沙子 (栃木・BLITZSCHLAGE)

上野みなみ (青森・鹿屋体育大学)

福本 千佳 (大阪・同志社大学)

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

Womens ツア・オブ・タイランド 2013 (2013/ 4/8-10 タイ・バンコク UCI 2.2)

個人総合成績 (277.59km)

1	NGUYEN Thuy Dung	VIE	7:21.11
2	HUANG Ting Ying	TPE	7:21.13
3	KUNLAPA Wilaiwan	THA	7:21.23
4	上野みなみ	青森 鹿屋体育大	7:21.29
5	HSIAO Mei Yu	TPE	7:21:37
6	LEUNG Bo Yee	HKG	7:21:40
9	金子 広美	三重 イー・メイト	7:21.52
23	針谷千紗子	栃木 Britzschlage	7:24.40
28	福本 千佳	大阪 同志社大学	7:24.51
29	豊岡 英子	大阪 パナニックL.	7:24.55

第1ステージ (71.4km)

1	HUANG Ting Ying	TPE	1:53.10
2	NGUYEN Thuy Dung	VIE	1:53.10
3	KUNLAPA Wilaiwan	THA	1:53.10
4	LEUNG Bo Yee	HKG	1:53.10
5	上野みなみ	青森 鹿屋体育大	1:53.10
6	HSIAO Mei Yu	TPE	1:56.21
12	豊岡 英子	大阪 パナニックL.	1:56.21
21	針谷千紗子	栃木 Britzschlage	1:56.21
23	金子 広美	三重 イー・メイト	1:56.21
31	福本 千佳	大阪 同志社大学	1:56.32

第2ステージ (83.3km)

1	SOMRAT Jaruwan	TAS	2:16.54
2	CHUMLUE Jariya	TAS	2:17.02
3	WONG Wan Yiu Jamie	HKG	2:17.02
4	HUANG Ting Ying	TPE	2:17:08
5	DIAO Xiaojuan	HKG	2:17:08
6	HSIAO Mei Yu	TPE	2:17:08
10	上野みなみ	青森 鹿屋体育大	2:17.08
28	針谷千紗子	栃木 Britzschlage	2:17.08
29	金子 広美	三重 イー・メイト	2:17.08
38	福本 千佳	大阪 同志社大	2:17.08
44	豊岡 英子	大阪 パナニックL.	2:17.23

第3ステージ (122.89km)

1	HSIAO Mei Yu	TPE	3:08.23
2	MENG Zhaojuan	HKG	3:08.23
3	BOONSAWAT Panwaraporn	THA	3:08.23
4	金子 広美	三重 イー・メイト	3:08.23
5	HUANG HO Hsun	TPE	3:08.26
6	WONG Wan Yiu Jamie	HKG	3:09:58
13	上野みなみ	青森 鹿屋体育大	3:11.11
19	福本 千佳	大阪 同志社大学	3:11.11
22	針谷千紗子	栃木 Britzschlage	3:11.11
31	豊岡 英子	大阪 パナニックL.	3:11.11

U23 ネイションズカップ

ロード・ファン・ファン・レーン・ハートン (UCI 1.Ncup) (2013/4/6 ヘルシンキ・フィンランド)

1	ZABEL Rick	GER	4:26.33
2	GROENEWEGEN Dylan	NED	4:26.33
3	NIELSEN Magnus Cort	DEN	4:26.33
4	BIE Sean DE	BEL	4:26.33
5	JENSEN Kristian haugaard	DEN	4:26.33

6	LIJKE Nicky VAN DER	NED	4:26.33
73	西村 大輝	東京 シュレーシング	+ 11.15
74	山本 元喜	奈良 鹿屋体育大	+ 11.15
76	寺崎 武郎	福井 EQA U23	+ 11.15
秋丸 湧哉	大阪 EQA U23	DNF	
黒枝 士揮	大分 鹿屋体育大学	DNF	
六峰 亘	大分 ブリヂストーンカー	DNF	

U23 ネイションズカップ

ラコトビカト (UCI 1.Ncup)

(2013/ 4/10 フランス・ビカルティ) 172km

1	Caleb EWAN	AUS	3:59.52
2	Sean DE BIE	BEL	3:59.52
3	Simon YATES	GBR	3:59.52
4	Kristian haugaard JENSEN	DEN	3:59.52
5	Jan POLANC	SLO	3:59.52
6	Christophe LAPORTE	FRA	+ 22
17	寺崎 武郎	福井 EQA U23	+ 22
42	西村 大輝	東京 シュレーシング	+ 22
66	木下 智裕	神奈川 エース	+ 4.02
68	黒枝 士揮	大分 鹿屋体育大	+ 4.02
88	六峰 亘	大分 ブリヂストーンカー	+ 5.20
100	山本 元喜	奈良 鹿屋体育大	+ 5.20

U23 ネイションズカップ

ZLM ツア (UCI 1.Ncup)

(2013/4/13 オランダ・セーラント) 177.2km

1	Yoeri HAVIK	NED	3:59.14
2	Mark DZAMASTAGIC	SLO	+ 2
3	Kiril YATSEVICH	RUS	+ 7
4	Owain DOULL	GBR	+ 7
5	Niels WYTINCK	BEL	+ 7
6	Paco GHISTELINCK	BEL	+ 7
27	木下 智弘	神奈川 エース	+ 1.14
黒枝 士揮	大分 鹿屋体育大学	DNF	
六峰 亘	大分 ブリヂストーンカー	DNF	
西村 大輝	東京 シュレーシング	DNF	
寺崎 武郎	福井 EQA U23	DNF	
山本 元喜	奈良 鹿屋体育大学	DNF	

ジュニアネイションズカップ

2013 ツール・ド・イストリア (UCI 2.Ncup)

(2013/4/19-21 クロアチア・イストリア)

個人総合成績 (293km)

1	GEOGHEGAN Hart Teo	GBR	7:16.52
2	PER David	SLO	+ 0.02
3	STRAKHOV Dmitry	RUS	+ 0.08
4	TOUZE Damien	FRA	+ 0.12
5	GESBERT Elie	FRA	+ 0.19
6	PESSOTTO Yuri	ITA	+ 0.23
38	岡 篤志	茨城 キャノンテール	+ 2.22
45	横山 航太	長野 篠ノ井高	+ 4.01
57	橋詰 丈	東京 昭和一学	+ 5.44
69	黒枝 咲哉	大分 日出暁谷高	+ 8.30
90	吉田 優樹	福島 日本大	+ 20.28
91	山本 大喜	奈良 榛生昇陽高	+ 20.52

第1ステージ (97km)

1	PER David	SLO	2:13.34
2	PESSOTTO Yuri	ITA	+ 0.01
3	GEOGHEGAN Hart	GBR	+ 0.01
4	HONIGH Nino	NED	+ 0.01
5	RAYNAUD Antoine	FRA	+ 0.01
6	SHEMYAKIN Sergey	GBR	+ 0.01
29	横山 航太	長野 篠ノ井高	+ 1.08

48	岡 篤志	茨城 キャノンテール	+ 1.08
75	橋詰 丈	東京 昭和一学	+ 1.08
105	黒枝 咲哉	大分 日出暁谷高	+ 7.49
121	山本 大喜	奈良 榛生昇陽高	+ 15.52
122	吉田 優樹	福島 日本大	+ 15.52

第2ステージ (90km)

1	GEOGHEGAN Hart	GBR	2:28.57
2	TOUZE Damien	FRA	2:28.57
3	SCHLEMMER Lukas	AUT	2:28.57
4	PER David	SLO	2:28.57
5	STRAKHOV Dmitry	RUS	2:28.57
6	DEVERCHERE Valentin	FRA	+ 0.04
26	黒枝 咲哉	大分 日出暁谷高	+ 0.27
40	岡 篤志	茨城 キャノンテール	+ 1.00
46	横山 航太	長野 篠ノ井高	+ 2.39
58	橋詰 丈	東京 昭和一学	+ 4.22
62	吉田 優樹	福島 日本大	+ 4.22
67	山本 大喜	奈良 榛生昇陽高	+ 5.46

第3ステージ (106km)

1	HALVORSEN Kristoffer	NOR	2:34.35
2	MINALI Riccardo	ITA	2:34.35
3	PESSOTTO Yuri	ITA	2:34.35
4	RAVNSHOLT Emil	DEN	2:34.35
5	MENTEN Milan	BEL	2:34.35
6	VON BURG Dominic	SUI	2:34.35
9	横山 航太	長野 篠ノ井高	2:34.35
12	岡 篤志	茨城 キャノンテール	2:34.35
80	吉田 優樹	福島 日本大	2:34.35
81	山本 大喜	奈良 榛生昇陽高	2:34.35
82	橋詰 丈	東京 昭和一学	2:34.35
100	黒枝 咲哉	大分 日出暁谷高	+ 4.37

グランプリオデラリパライオネ (UCI1.2U)

(2013/4/25 イタリア・ローマトスカナ) 138km

1	Ilija Koshekov	BLR	3:21.54
2	Adam Phelan	AUS	+ 0.01
3	Alberto Bettiol	ITA	+ 0.30
4	Stefano Nardelli	ITA	+ 0.34
5	Giuseppe Fonzi	ITA	+ 0.39
6	Andrea Zordan	ITA	+ 0.39
31	秋丸 湧哉	大阪 EQA U23	+ 0.52
39	清水 太己	東京 EQA U23	+ 0.54
小橋 勇利	愛媛 ホンジャス飯田	DNF	
寺崎 武郎	福井 EQA U23	DNF	
六峰 亘	大分 ブリヂストーンカー	DNF	

第15回全日本学生選手権列刊大会

(2013/4/28 滋賀・東近江ふれあい運動公園)

男子

1	橋本 英也	岐阜 鹿屋体育大	43p
2	黒枝 士揮	大分 鹿屋体育大	31p
3	山本 隼	山梨 中央大	9p
4	前園 浩平	愛媛 立命館大	5p
5	秋田 拓磨	福井 朝日大	4p
6	河賀 雄大	広島 立命館大	4p

女子

1	上野みなみ	青森 鹿屋体大	39:18.32
2	塚越さくら	鹿児島 鹿屋体大	39:33.23
3	福本 千佳	大阪 同志社大	39:34.63
4	浅田 聖奈	愛知 中京大	41:23.69
5	江藤里佳子	大分 鹿屋体大	41:24.20

MTB ジャパンシリーズ J1 びわ湖高島 STAGE
DHI#1 (2013/5/3-4 滋賀・箱館山峠-場)

男子リトタイム

- 1 井本はじめ 東京 Love bikes 3:14.305
- 2 九島 勇気 神奈川 玄武 3:15.024
- 3 浅野 善亮 愛知 GIANT 3:15.869

女子リトタイム

- 1 末政 実緒 兵庫 Dirtfreak 3:39.893
- 2 中川 綾子 兵庫 YRS 3:52.187
- 3 中村 美佳 福井 MTB Park 3:55.259

2013JBMXF ジャパンシリーズ 第1戦
(2013/5/4-5 大阪・サウクルア岸和田)

男子リト

- 1 草間 亮介 新潟 HARO
- 2 佐伯 辰哉 広島 VENETTA
- 3 野村 敏且 岡山 岡山県 BMX 協会

女子リト

- 1 朝比奈綾香 大阪 関西 BMX 競技連盟
- 2 瀬古 遥加 三重 Groovy Factory
- 3 山野本悠里 広島 VENETTA

MTB ジャパンシリーズ J1 びわ湖高島 STAGE
XCO#1 (2013/5/5-6 滋賀・朽木峠-場)

男子リト クロスカントリー

- 1 斉藤 亮 長野 MIYATA 1:30:49.07
- 2 小野寺 健 京都 specialized 1:32:21.75
- 3 千田 尚孝 愛知 自転車村 1:34:22.96

女子リト クロスカントリー

- 1 中込由香里 長野 SY-Nak 1:22:13.78
- 2 相野田静香 長野 GROW 1:33:56.84
- 3 広瀬 由紀 神奈川 ckirin 1:35:58.79

第53回東日本学生選手権トラック自転車競技大会
(2013/5/11-12 山梨・境川自転車競技場)

男子スプリント

- 1 橋本 凌甫 東京 日本大
- 2 橋本 瑠偉 佐賀 明治大
- 3 栗田 万生 石川 順天堂大

男子1kmタイムトライアル

- 1 末木 浩二 山梨 日本大 1:06.452
- 2 門脇 翼 秋田 東北学院 1:07.522
- 3 碓 優太 福井 日本大 1:07.628

男子ケリ

- 1 池野 健太 兵庫 中央大
- 2 田尾 駿介 高知 明治大
- 3 浜地 一徳 京都 日本大

男子4km個人パシージュ

- 1 近谷 涼 富山 日本大 4:46.631
- 2 緑川 竣一 福島 中央大 4:49.340
- 3 和田 力 和歌山 日本大 4:50.215

男子スクラッチ (10km)

- 1 青野 将大 香川 法政大
- 2 大橋 涼 埼玉 日本体育大
- 3 菊地 啓汰 岩手 順天堂大

男子ポイントレース

- 1 倉林 巧和 群馬 日本体育大 38p
- 2 寺崎 浩平 福井 法政大 21p
- 3 広瀬 樹 神奈川 中央大 11p

男子チームスプリント

- 1 中央大学 池野・佐伯・宮本 1:17:909
- 2 日本大学 浜地・安里・坂本 REL

- 3 東北学院 大山・門脇・田代 1:19:585

男子チームパシージュ

- 1 中央大 緑川・黒瀬・高士・神開 4:24:391
- 2 日本大 久保田・我妻・近谷・高宮 4:27:709
- 3 日体大 倉林・河内・松本・小林 4:29:217

女子500mタイムトライアル

- 1 小島 蓉子 千葉 日本体育大 38.390
- 2 齋藤 望 宮城 日本体育大 39.320
- 3 丸田 京 東京 法政大 39.790

女子スプリント

- 1 小島 蓉子 千葉 日本体育大
- 2 山田 まい 山梨 日本体育大
- 3 齋藤 望 宮城 日本体育大

女子3km個人パシージュ

- 1 中村 妃智 千葉 日本体育大 4:05.489
- 2 柳本 愛奈 山梨 日本体育大 4:13.599
- 3 合田祐美子 岡山 早稲田大 4:16.472

女子チームスプリント

- 1 日本体育大 小島・齋藤 1:00:136
- 2 順天堂大 樋口・神庭 1:04:767

第33回西日本学生選手権トラック自転車競技大会
(2013/5/11-12 京都・向日町競輪場)

男子スプリント

- 1 松本 貴治 愛媛 朝日大
- 2 山口 大貴 鹿児島 鹿屋体育大
- 3 上遠野拓馬 宮城 朝日大

男子1kmタイムトライアル

- 1 相馬 義宗 岐阜 朝日大 1:08.458
- 2 廣田 敦士 三重 朝日大 1:09.640
- 3 有山 誠昌 埼玉 朝日大 1:10.502

男子ケリ

- 1 奥村 諭志 岡山 鹿屋体育大
- 2 安本 昇平 山口 鹿屋体育大
- 3 柴崎 俊祐 山口 鹿屋体育大

男子4km個人パシージュ

- 1 矢野 智哉 岐阜 朝日大 4:52.873
- 2 徳田 優 鹿児島 鹿屋体育大 4:55.852
- 3 渡邊翔太郎 岐阜 朝日大 4:56.176

男子スクラッチ (10km)

- 1 市原 和希 岐阜 朝日大
- 2 原井 剣也 福岡 朝日大
- 3 太田 大揮 大阪 立命館大

男子ポイントレース

- 1 前園 浩平 愛媛 立命館大 67p
- 2 原田 裕成 岡山 鹿屋体育大 65p
- 3 長尾 康平 愛知 中京大 38p

男子チームスプリント

- 1 朝日大 相馬・廣田・上遠野 1:16:831
- 2 鹿屋体 山口・柴崎・奥村 1:18:330
- 3 環太平 野村・宮内・岡本 1:22:002

男子チームパシージュ

- 1 京産大 吉岡・木村・谷口・間瀬 4:34.470
- 2 立命大 前園・太田・河賀・廣瀬 4:35.257
- 3 朝日大 矢野・谷岡・渡邊・秋田 4:36.091

女子500mタイムトライアル

- 1 森 沙耶香 大分 朝日大 42.291
- 2 鈴木 遊 鳥取 朝日大 42.733
- 3 宮田 菜摘 岐阜 朝日大 43.775

女子スプリント

- 1 森 沙耶香 大分 朝日大

女子3km個人パシージュ

- 1 宮田 菜摘 岐阜 朝日大 4:23.603
- 2 福本 千佳 大阪 同志社大 4:25.141
- 3 鈴木 遊 鳥取 朝日大 4:25.667

女子チームスプリント

- 1 朝日大 鈴木・森 1:05.330

第60回全日本選手権自転車競技大会
BMX 競技
(2013/5/18 大阪・サウクルア岸和田)

男子

- 1 古性 優作 大阪
- 2 山本 巨樹 大阪
- 3 西岡 拓朗 広島

7ツア BMX 選手権大会
(2013/5/19 シカゴ・ル)

男子リト

- 1 Daniel CALUAG PHI
- 2 松下 巽 神奈川 法政大
- 3 吉村樹希敢 大阪 TOYO CREDIT
- 7 三瓶 将廣 神奈川 SYSTEMATIC

女子リト

- 1 Liyun MA CHN
- 2 Yan LU CHN
- 3 Suyangzi WANG CHN
- 5 飯端 美樹 大阪
- 8 三輪 郁佳 福岡

男子ジュニア

- 1 吉井 康平 東京 Bring Up Power
- 2 佐伯 辰哉 広島 VENETTA
- 3 Younghoi KOO KOR
- 8 池上 悠斗 大阪 リンゴロード

女子ジュニア

- 1 瀬古 遥加 三重 Groovy Factory
- 2 朝比奈綾香 大阪
- 3 山野本悠里 広島

第3回堺国際クワリム
(2013/5/19 大阪・堺市大仙公園)

1	RICHEZE Maximiliano ITA	35.16
2	MERLO Michele ITA	35.16
3	GIACOPPO Anthony AUS	35.16
4	POZZO Mattia ITA	35.16
5	WALKER William AUS	35.16
6	PALINI Andrea Francesco ITA	35.16

2013JBMXF シリーズ 第2戦
(2013/5/26 茨城・ひたち海浜公園)

男子リト

1	草間 亮介 新潟県 BMX 協会
2	吉村樹希敢 神奈川県 BMX 協会
3	松下 巽 関西 BMX 競技連盟

ツール・ド・熊野 2013
(2013/5/30-6/2 和歌山 / 熊野他)

個人総合順位

1	アルド・ジリアン・デ・ゼボト COL	7:38.38
2	バリアーニ・フォルツナト ITA	7:38.43
3	ネイサン・アール AUS	7:39.02
4	カンパニャーロ・シモネ ITA	7:39.03
5	土井 雪広 チーム UKYO	7:39.12
6	ルバ・トマ FRA	7:39.12

ポイント総合

1	マッティア・ホッツ ITA	25p
2	ミケレ・メルロー ITA	20p
3	カンパニャーロ・シモネ ITA	16p

山岳賞総合

1	アルド・モロ・ジリアン COL	17p
2	バリアーニ・フォルツナト ITA	12p
3	ホセビセンテ ESP	5p

チーム総合

1	チーム NIPPO ティ・ローザ	22:56.40
2	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	23:01.44
3	チーム UKYO	23:03.12

第1ステージ 赤木川清流

1	ミケレ・メルロー ITA	2:29.56
---	--------------	---------

2	マッティア・ホッツ ITA	2:29.56
3	チャン・ジェ・ジャン KOR	2:29.56
4	カンパニャーロ・シモネ ITA	2:29.56
5	アンソニー・ジャコッホ AUS	2:29.56
6	畑中 勇介 シマノレーシング	2:29.56

第2ステージ 熊野山岳

1	アルド・ジリアン・デ・ゼボト COL	2:39.17
2	バリアーニ・フォルツナト ITA	2:39.17
3	ネイサン・アール AUS	2:39.37
4	カンパニャーロ・シモネ ITA	2:39.37
5	ホセビセンテ ESP	2:39.40
6	ルバ・トマ FRA	2:39.40

第3ステージ 太地半島

1	マッティア・ホッツ ITA	2:28.41
2	ミケレ・メルロー ITA	2:28.41
3	カンパニャーロ・シモネ ITA	2:28.41
4	平井 栄一 ブリヂストンアンカー	2:28.41
5	アンソニー・ジャコッホ AUS	2:28.41
6	チャン・ジェ・ジャン KOR	2:28.41

2013JCFMTB シリアルシリーズ 春 DHI # 2, XCO # 3 (J1)
(2013/6/1-2 長野・富士見パノラマ)

男子リトダウンヒル

1	清水 一輝 愛知 AKI FacT.	2:25.402
2	井本はじめ 兵庫 LoveBikes	2:27.728
3	九島 勇気 神奈川 玄武	2:31.476

女子リトダウンヒル

1	末政 実緒 兵庫 Dirtfreak	2:47.744
2	中川 綾子 兵庫 YRS	2:57.759
3	中川 弘佳 大阪	3:00.655

男子リトクロスカントリー

1	斉藤 亮 長野 MIYATA	1:30:06.13
2	門田 基志 愛媛 GIANT	1:33:42.52
3	中原 義貴 大阪 Cannondale	1:34:44.56

女子リトクロスカントリー

1	中込由香里 長野 SY-Nak	56:43.98
2	末政 実緒 兵庫 Dirtfreak	59:47.42
3	相野田静香 長野 GrowDirt	1:00:44.74

第52回全日本学生選手権ロードタイムトライアル
(2013/6/1 埼玉・利根川上流域南側)

1	鹿屋体 山本・石橋・徳田・橋本・原田・徳田	2:03:53.37
2	中央大 黒瀬・緑川・高士・神開・広瀬・安原	2:04:38.89
3	日体大 倉林・坂本・松本・河内・山川・小林	2:06:20.21
4	早稲田 大中・佐々木・有我・谷口・関・伊藤	2:07:07.66
5	京産大 木村・吉岡・鎌本・谷口・中井・間瀬	2:07:11.73
6	明治大 末永・西沢・鈴木・金井・帖地・小林	2:07:23.82

第17回全日本選手権個人タイムトライアルロードレース
(2013/6/9 秋田・大湯)

男子リト

1	大場政登志 岐阜 C Project	55:19.463
2	西園 良太 鹿児島 チャンピオンS	55:20.724
3	窪木 一茂 和歌山 教育委員会	55:44.311

男子U23

1	山本 元喜 奈良 鹿屋体大	38:35.829
2	橋本 英也 岐阜 鹿屋体大	39:41.818
3	倉林 巧和 群馬 日本体大	39:51.878

男子ジュニア

1	岡 篤志 茨城 C Project	27:57.661
2	樋口 峻明 神奈川 横浜高	28:21.866
3	山本 大喜 奈良 榛生昇陽	28:26.107

男子U17

1	石上 優大 神奈川 横浜高	20:41.298
2	安田 開 京都 北桑田高	20:51.846
3	川田 竜也 埼玉 浦和工高	23:12.859

女子リト

1	與那嶺重理 茨城 フォルツァ!	28:57.581
2	萩原麻由子 群馬 Wiggele	29:27.402
3	上野みなみ 青森 鹿屋体大	30:35.470

女子ジュニア

1	坂口 聖香 兵庫 パナソニック	22:50.252
2	伊藤 杏菜 愛知 R G J.	23:35.487
3	元砂七夕美 奈良 榛生昇陽	23:42.025

女子U17

1	坂口 楓華 兵庫 パナソニック	23:23.134
2	寺田 有希 愛知 R G J.	26:14.638

2013日本パラサイクリング選手権ロード大会
(2012/6/9 秋田・大湯)

男子トライアثل・クラス T2

1	小川 陸彦 東京 JPCF	28:44.566
---	---------------	-----------

男子視覚障害クラス B

1	大城 竜之 東京 チームチエパロ	29:23.129
---	------------------	-----------

男子自転車競技クラス C

1	藤田 征樹 茨城 チームチエパロ	29:50.868
2	石井 雅史 東京 チームスキップ	30:39.720
3	阿部 学宏 静岡 Spade A	32:36.068

男子ハンドバイク・クラス H

1	奥村 直彦 茨城 JPCF	34:33.689
2	花岡 伸和 千葉 JPCF	37:16.255
3	藤野 一成 福岡	41:46.407

女子視覚障害クラス B

1	鹿沼由理恵 東京 JPCF	31:56.997
---	---------------	-----------

JBMXF シリーズ 第3戦
(2012/6/16 大阪・サイクリング岸和田)

男子リト

1	吉村樹希敢 大阪 TOYO, CREDIT
2	三瓶 将廣 神奈川 システマチック BMX
3	佐伯 辰哉 広島 VENDETTA



ツール・ド・熊野2013

第29回全日本学生選手権個人ロードレース大会
(2013/6/15-16 長野・奥木曾湖)

男子 (181km)

1	辻本 尚希	東京 順天堂大	4:40.47
2	前園 浩平	愛媛 立命館大	4:40.56
3	雨宮 正樹	山梨 日本大	4:40.58
4	吉岡 直哉	京都 京都産業大	4:41.10
5	布施 光	埼玉 順天堂大	4:41.11
6	石橋 学	青森 鹿屋体育大	4:41.16

女子 (100km)

1	合田祐美子	岡山 早稲田大	3:02:40
2	上野みなみ	青森 鹿屋体育大	3:02:40
3	塚越さくら	鹿児島 鹿屋体育大	3:03:11
4	下澤千亜紀	和歌山 anterior	3:03:45
5	福本 千佳	大阪 同志社大	3:04:03
6	齋藤 望	宮城 日本体育大	3:07:04

加盟団体事務局変更のお知らせ

● 神奈川県自転車競技連盟

〒254-0075 神奈川県平塚市中原 1-12-19 落合 様方
TEL & FAX: 0463-31-2053 E-mail: tkochiai@mc.scn-net.ne.jp

● 熊本県自転車競技連盟

〒860-0004 熊本県熊本市中央区新町 4-1-18
新町 CNT503 内 市原 裕二郎 様方
TEL & FAX: 096-288-1403 E-mail: info@kumamoto-cf.com

訃報

本連盟顧問 村田 統司氏 (元副会長・73歳) におかれましては、平成25年4月28日(日)にご逝去されました。ここに謹んでお知らせします。

連盟の動き (5月上旬～6月下旬)

5月 2日	平成25年度第1回ロード競技部会	於：東京・日本自転車会館3号館4階
6日	2013年MTBアジア選手権大会日本選手団出発	於：中国・成都 帰国→13日
15日	平成25年度第1回競技運営委員会	於：東京・自転車会館3号館9階
17日	2013年BMXアジア選手権大会日本選手団出発	於：シンガポール 帰国→20日
27日	平成25年度第1回総務委員会	於：東京・自転車会館3号館4階
30日	平成25年度第2回選手強化委員会	於：東京・日本自転車会館3号館4階
30日	2013トロフェオ・カールスベルク日本選手団出発	於：ドイツ 帰国→6/3
31日	ツール・ド・シンカラ日本選手団出発	於：インドネシア 帰国→6/11
31日	平成25年度第2回常務理事会	於：東京・日本自転車会館3号館4階
3日	ジュニアトラック強化合宿	於：静岡・日本CSC (～7日)
3日	ジュニアロード強化合宿	於：青森・八戸 (～7日)
6月 7日	平成25年度第1回理事会	於：東京・日本自転車会館3号館4階
14日	トラック育成合宿	於：静岡・日本CSC (～17日)
16日	平成25年度第1回医科学部会	於：静岡・日本CSC
26日	平成25年度第1回定時評議員会	於：東京・日本自転車会館2号館8階
26日	平成25年度第2回広報部会	於：東京・日本自転車会館3号館4階

無限の夢へ、走りだそう。



RING!RING!
プロジェクト

競輪の補助事業



16th TOUR OF JAPAN

天竜川沿いをパレード走行する選手達



富士山ステージ



競輪学校内に行く選手達



< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.201 2013年6・7月号

発行/公益財団法人日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/塚本 芳大

編集事務局/公益財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>

